



【第3次振興計画】町民参画の取組経過 ～町の将来像実現に向けて～



1 振興計画の構成

基本構想

基本構想

- ・まちづくり全体の基本的理念や目標、方向性を定めるもの
- ・計画期間：令和9年度（2027年度）から令和18年度（2036年度）までの10年間
- ・構成（案）：「まちの将来像」、「まちづくりの理念」、「基本目標（施策の大綱）」、「計画の実現にむけて」

基本計画

基本計画

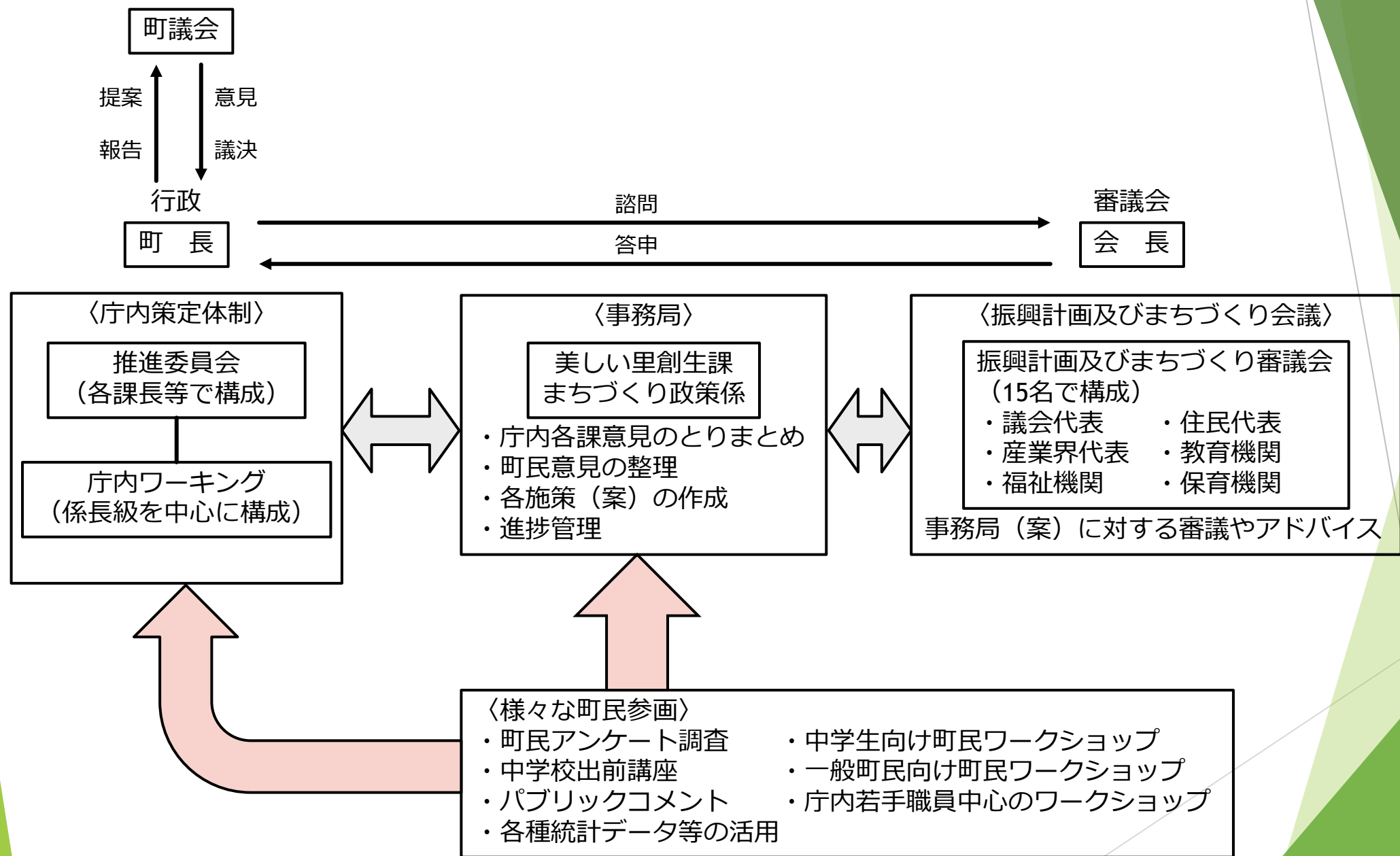
- ・基本構想で定めた目標等の実現に必要な施策を分野別（網羅的）に体系化し、各施策の展開方針、指標等を定めるもの
- ・計画期間：
【前期基本計画】令和9年度（2027年度）から令和13年度（2031年度）までの5年間
【後期基本計画】令和14年度（2032年度）から令和18年度（2036年度）までの5年間

実施計画

実施計画

- ・基本計画に定める目標を着実に達成するため、具体的な事業等を整理し、進捗管理を行うもの
- ※今後の具体的な運用方法等については、より効率的・効果的に実施するため整理中

2 振興計画の策定体制



3 基本構想策定に向けた具体的取組（１）

〈まちづくりに関する住民アンケート調査〉

美里町第３次振興計画及び美里町第３期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、将来のまちづくりに町民の意見を反映するため、町民を対象としたアンケート調査を実施しました。

項目	内容
調査対象	18歳以上の美里町内在住者（無作為抽出）
配布数	1,800票
調査方法	調査票郵送・WEB調査
調査時期	令和７年１月
調査地区	美里町内全域
有効回収数	590票
回収率	32.8%

3 基本構想策定に向けた具体的取組（2）

〈まちづくり住民ワークショップ（一般町民向け）〉

開催日：令和7年8月1日（金）

参加者：一般町民（28名）+役場若手職員（13名） 計41名



3 基本構想策定に向けた具体的取組（3）

〈まちづくり住民ワークショップ（町内中学生向け）〉

開催日：令和7年9月5日（金）

参加者：中学生（3年生） 計56名



3 基本構想策定に向けた具体的取組（４）

〈庁内若手職員向けワークショップ〉

開催日：令和８年５月１４日（木） 午前

参加者：庁内若手職員を中心 計３０名

【内容】

- ・人口ビジョン及び地域の未来予測の概要説明
- ・振興計画及び総合戦略の策定趣旨説明
- ・住民目線で考える町の将来像検討
- ・将来像から考える基本目標の検討



3 基本構想策定に向けた具体的取組（5）

〈第1回庁内ワーキンググループ〉

開催日：令和8年5月14日（木） 午後

参加者：係長級職員を中心 計31名

【内容】

- ・人口ビジョン及び地域の未来予測の共有
- ・振興計画及び総合戦略の策定スケジュールの共有
- ・住民目線で考える町の将来像検討
- ・将来像から考える基本目標の検討
- ・行政目線で考える施策の方向性の検討
- ・振興計画進捗管理の課題整理



4 将来像等の検討（1）

〈まちづくり住民ワークショップ（一般町民）〉

10年度、どのような美里町になっていて欲しいか

こども 関係	・ こどもの声が聞こえる明るい町 ・ こどもたちが増えたと思える町	・ こどもの声があふれる子育てにやさしい町
高齢者 関係	・ 高齢者の1人暮らしが安心できる町 ・ 老後に安心して住める町	・ 健康な高齢者の町
人口 関係	・ 人口減少に歯止めがかかり、美里町として存続できる町 ・ 人々の繋がりが密な町 (多世代交流、イベントや町外との交流、文化財の有効活用等)	
自然 環境	・ 豊かな自然を楽しめるゆとりある生活ができる町 ・ 自然を大事にする町	
生活 環境	・ 住宅が多く、買い物する場所があり、静かで落ち着いた町 ・ 必要なものが揃っている町 ・ 休日にはほっとする時間が作れる町 ・ 美里町があり続けるために、公共機能の集約、コンパクトシティ化	
その他	・ 元気で活力ある町 ・ 町民が前向きな町 ・ 地域住民が地域を支えて活発な町 ・ 魅力あふれ、優しさと思いやりがあふれる町	・ 住まいを構える候補に入る町 ・ 農林、商工業の人材育成 ・ みんなが楽しい笑顔あふれる町

4 将来像等の検討（2）

〈まちづくり住民ワークショップ（町内中学生：砥用中学校）〉

10年度、どのような美里町になっていて欲しいか

こども 関係	・ こどもがもう少し増えて欲しい（増えて欲しい） ・ 学校、幼稚園、保育園はそのまま、今よりも盛り上がっている	
人口 関係	・ 人が多い町 ・ 人口1万人以上の町 ・ 遊園地がある町	・ たくさんの人が来る町 ・ 観光地がたくさん（観光業が盛ん）
自然 環境	・ 自然を残して栄えて欲しい ・ 自然がたくさんある町	・ 米無料のまち ・ 自然に活かされた住みやすい町
生活 環境	・ 都会みたいな町 ・ 大きいスーパーがあるまち ・ 住みやすいまち ・ お店がいっぱいあるまち（設備が整っている） ・ 安心、安全に暮らせる町（災害やお金の心配がない）	・ 買い物しやすい町 ・ 商店街復活（活気がある商店街） ・ 便利なまち
その他	・ 元気のある町 ・ 第2の東京 ・ 伝統が続くまち ・ 全てのインフラ、サービスが充実しているまち ・ 働く場所がたくさんあり、町から出て行かなくても良い町	・ 活気がある町 ・ 美里町としてなくなる町 ・ 働く場所が増えて欲しい

4 将来像等の検討（3）

〈まちづくり住民ワークショップ（町内中学生：中央中学校）〉

10年度、どのような美里町になっていて欲しいか

人口 関係	・人口が増えて欲しい ・人との交流が増える場所が欲しい ・人口1万人以上の人が美里町に住んでいるまち	・たくさんの人が来る町 ・にぎやかで人が集まる町
観光 関係	・観光客が多いまち ・人気のある観光スポットが欲しい	・観光地が多いまち
自然 環境	・自然はそのままでお店が増えるまち ・木がいっぱいあるまち	・水辺がたくさんのまち ・空気がおいしく、星がきれいに見える町
生活 環境	・都会みたいな町 ・お店が増えて欲しい ・楽しく遊べる場所がある町 ・遊園地、大型店舗があるまち ・大きい会社があるまち（イオン、有名チェーン店） ・カフェや勉強できるところが欲しい（空き家を活かした、スタバみたいな）	・ゲームセンターがある町 ・ある程度必要なお店があるまち ・交通の便が良すぎるまち
その他	・豊かなまち ・活気あふれる町 ・人がやさしい町 ・町のライフラインをよくする	・にぎやかなまち ・栄えるまち ・近未来の町 ・歩道も車道と同じように舗装された町

5 第3次振興計画基本構想（案） 『将来像』

将来像・・・

『小さくてもキラリと光る私たちのまち』 ～ひとが集い、想いをつなぎ、地域の魅力をとともに育む未来～

本町は、美里町振興計画を策定して以来『小さくてもキラリと光る私たちのまち』を将来像に掲げ、子育て支援・福祉・協働など、様々なことに取り組んできました。

今後も人口減少と少子高齢化が深刻となることが予測される中で、「**住んでいる人々が幸せを感じながら『住み続けたい』と思えるような環境・基盤を整えること**」そして、「**一度、美里町から出た人々が『帰りたい』と思えるような、移住者・企業などから『選ばれる魅力』を磨き上げること**」この二つを、行政だけではなく、住民や町に関わる人々が未来の美里町を見据えてともに手を取り合い、今まで以上に「**キラリと光るまち**」となるよう、「**私たちのまち**」という誇りを持って、まちづくりを進めていく姿を、本計画の将来像として掲げます。

人口減少や少子高齢化という課題を悲観するのではなく、住民・関係者（行政・企業・団体など）が世代を超えて互いに支え合い「人が集まり」、これまで美里町を支えてこられた人々の「想いをつなぎ」ながら、美里町ならではの強みを磨くことで、地域の魅力をとともに育てていきます。

そして、全てのこどもたちが自分らしく健やかに育ち、これまで長年にわたり美里町を支えてこられた高齢者が生きがいを持って安心して暮らせるような、温もりあふれる美里町を、次の世代へつなぎます。